

目指す学校像

スクール・ミッション

「情熱・誠実・理想」を校訓に掲げ、多くの保護者や地域に支えられる『地域に根ざし、地域に信頼される学校』として、生徒の第一志望校への進路実現に向けた教育活動を実践していく。特に国際理解教育を通して、自ら学び続け、社会の中で主体的に行動できる人間を育成していく

目指す学校像	1	グラデュエーション・ポリシー 自ら学び続け社会の中で主体的に行動できる人間、「自立した学習者」の育成を目指す
	2	カリキュラム・ポリシー（以下4点の資質・能力の育成を目指す） ① 常に探究心をもって、学び続ける力 ② 主体的に考え、行動する力 ③ 失敗を恐れず、何事にもチャレンジする力 ④ 他者とコミュニケーションを図り、社会に貢献する力
	3	アドミッション・ポリシー（本校の期待する生徒像） ① 学習活動に目的意識をもって努力し、主体的に学習に取り組むことができる生徒 ② 将来の生き方や進路に関して常に考え、進路目標実現に向けて努力して、自らを高めることができる生徒 ③ 部活動、生徒会活動や学校行事に、継続して積極的に取り組む意志をもち、責任を果たすことができる生徒 ④ 各種のボランティア活動等に積極的に参加し、社会貢献を果たそうとする姿勢・意欲をもつことができる生徒 ⑤ 社会生活の希望が身に付いており、ルールを守り自己に厳しくけじめある学校生活を送ることができる生徒

2 中期的目標と方策

「向上進取の精神と高い志の涵養」
「世界にはばたく国際人の育成」

中期目標	1	高い志の育成	
	2	国公立大や難関私立大に合格できる学力の養成	
	3	グローバルに活躍する人材の育成と輩出	
	4	真の自主性と自律性に基づく規範意識と公共心の育成	
方策	1	スクールポリシーに基づき、学力の向上と定着を図る。	学習指導・進路指導
	2	進路指導部主導によるキャリア教育と探究活動を推進させることにより、進学指導の一層の充実を図り、生徒の第一志望校進学を実現させる。	学習指導・進路指導
	3	「海外学校間交流推進校」として国際交流事業に努め、国際理解教育の一層の充実を図る。	学習指導・進路指導
	4	公共心と健康で安全な生活に必要な能力と態度を育てる。	生活指導、特別活動・部活動
	5	知力、体力、徳力の向上を図り、社会人としての実践的な態度を養う。	生活指導 特別活動・部活動 体力の向上・健康の増進
	6	TOKYO ACTIVE PLAN for studentsに基づき、部活動を一層充実させるとともに、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。	
	7	地域への貢献を通して集団や社会の一員として、自主的、実践的な態度を育てる。	
	8	防災に関する正しい知識を身に付けさせ、共助の精神を醸成する。	防災教育・安全教育
	9	教育活動を積極的に広報するとともに、近隣中学校や地域へ情報を発信する。	募集・広報活動
	10	教科会の組織的運営を推進し、指導教諭等を活用して学力の向上を図る。	学校経営・組織体制
	11	経営企画室の機能を高め、計画的・効率的な予算の編成・管理・執行を行う。	
	12	主幹教諭、主任教諭による計画的なOJTを推進する。	

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

学習指導 進路指導	1	国公立大や難関私立大を意識した各教科の組織目標を設定し、年間授業計画・評価の観点等を策定し、スクールポリシーに基づき、具体的な学習方法を明示して、組織的・効果的な指導を行う。
	2	進路部主導による組織的な模試分析会や進路検討会等を推進し、全教職員による共通認識のもと、より効果的な生徒への還元を努め、一段高い生徒の進路実現を図る。
	3	土曜日を含む学期中及び長期休業日中の補習・講習を各分掌・教科・学年が連携し、計画的組織的に実施する。
	4	一人一台端末の導入を受け、デジタル技術を活用し、教科の枠を超えた横断的な教育を推進していく。
	5	普通科高校における特別支援教育の推進を図ることにより、個別指導計画等に基づく指導・支援を充実させる。

生活指導	1	全教育活動を通して教員一人ひとりの気づきと見守りを徹底し、自殺に追い込まれることない教育を推進していく。
	2	授業規律をはじめとした学校生活のルール・マナーを遵守させるため、生活指導を全校体制で行う。
	3	いじめや体罰は絶対にさせない見過ごさない校内体制を構築、生徒や保護者が安心、安全な学校生活を保障する。
特別活動 部活動	1	「海外学校間交流推進校」及び「Sport-Science Promotion Club 設置校」として国際交流や対象部活動の活動を奨励していくとともに、他の部活動に対しても積極的に活動する指導体制を構築し、部活動における一層の向上を図る。
	2	学校行事や委員会活動を充実させ、社会性や帰属意識の育成を図るとともに学校内外に貢献する姿勢を醸成する。
防災教育 安全教育	1	災害から自らの命を守るために必要な「自助」の能力を身に付けさせ、社会貢献など「共助」の精神を育成する。
	2	学校安全計画年間指導計画に基づき、登下校時の交通安全と災害等に対応した安全指導を推進する。
体力の向上 健康の増進	1	TOKYO ACTIVE PLAN for students に基づき、体育授業、部活動、学校行事等あらゆる機会を捉えて体力及び運動能力の向上を全校で取り組む。
	2	東京都体力テストの結果を踏まえ、普段運動をする習慣のない生徒に、効率的に運動量を確保する取組を推進する。
募集広報 活動	1	将来構想検討委員会を設置、本校の在り方や、行事及び連携事業を検証、見直し、本校を第一志望校として目指してもらえよう募集広報活動を推進していく。
	2	ホームページの学校紹介分野を充実させる。学校から地域・保護者等への最新の情報発信に努める。
学校経営 組織体制	1	教科主任会を設置し、教科内における教育活動の組織化、効率化を図る。
	2	スクールカウンセラーとの連絡会を随時実施し、問題の共有化による課題解決を図る。
	3	業務の効率化や組織体制の見直しを図りながら仕事に対する負担を軽減し、ライフワークバランスを推進する。
	4	経営企画室の業務進行管理を機能的に行い、都民の信頼に応える。

(2) 重点目標と方策

①	入学当初の大学進学希望を維持向上させ、国公立大20名、難関私立大(早慶上理)10名、上位私大(GMARCH)合格者数100名、成成明國武80名、日東駒専190名、大学入学共通テスト受験数200人、大学進学率90%以上を目指す。
②	より高次の自己実現や進路希望を実現していくため、各分掌、各教科の横断的かつ有機的な取組を通して学校組織全体でキャリア教育を推進する。スクールポリシーに基づき校内での統一指針による指導内容・方法を見直すとともに、生徒が基準到達するまで学習指導を繰り返す、卒業まで必要な学力を確実に身に付けさせる。
③	教科組織目標の策定と目標管理による教科会主導の国公立大や難関私立大を意識した教科指導を推進する。
④	組織的な模試分析会や進路検討会を各学期1回以上実施する。
⑤	授業規律を遵守し、生徒の学習環境・学習習慣を整える。生徒が自ら学習する意欲を高めるとともにデジタル技術を活用し、教科の枠を超えた横断的な教育を推進していく。
⑥	長期休業日中に進学対策及び学力向上のための講座を80以上、組織的に実施し、延べ3500名以上の受講者とする。
⑦	研修等において教員意識を高め気づきや見守りの徹底を図り、生徒状況の把握を強化し、いじめ対策や自殺予防対策を推進するとともに自殺に追い込まれない社会を実現していくために生徒の資質や意識を全教育活動を通して自殺対策に資する教育を推進していく。
⑧	遅刻の防止に努める。遅刻防止キャンペーン、各学期の遅刻指導(複数回)を実施する。
⑨	登下校時における危険箇所の確認や自転車の運転マナーの向上を図り、自転車事故0(ゼロ)を目指す。交通安全、特に自転車を中心とした二輪車利用に関する交通安全教育を充実させるため、保護者や地域と連携し交通安全教室を開催する。
⑩	都立高校生活指導指針に基づく規範意識の育成では、身だしなみの指導を充実させ、高校生活にふさわしい服装を装用させていく指導を行い、落ち着いて学習や部活動に取り組める環境を醸成する。儀式的行事、学年集会等の集団での行動を迅速且つ静粛・厳正に行い、けじめのある学校生活を構築する。
⑪	スクールカウンセラーと教育相談制度を確立した上で、通常の教育相談と併せ、普通科高校における特別支援教育の推進を図ることにより、個別指導計画等に基づく指導・支援を充実させる。
⑫	授業や体育的行事、及び部活動を通じて生徒の体力向上を図り、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ろうとする態度を育成するため、都統一体力テストを実施し、保健体育科を中として全校体制で体力、運動能力の向上を計る。
⑬	生徒部活動加入率100%以上とし、関東大会、都大会への出場や、高文連のコンクール等への出場を実現する。また、様々な体験活動を通して、地域貢献の心と集団や社会の一員として、自主的、実践的な態度を育てる。
⑭	年間防災教育活動計画に基づき、計4回の防災避難訓練を実施する。被災後の共助について、地域と連携した指導、訓練を行い、主体的行動力を身に付けさせるとともにリーダーの育成を図る。
⑮	全校体制で各種学校説明会に対応する(参加中学生数2000名以上)。
⑯	業務の効率化や組織体制の見直しを進め経営企画室の業務進行管理を一層強固なものにする。
⑰	いじめや体罰、暴力行為の根絶のため、校内服務事故防止研修会を年間3回以上実施する。

5年度の数値目標		4年度 ←	3年度 ←	2年度	
①	国公立大現役合格者数	20名以上	19名 ←	14名 ←	21名
②	難関私立大(早慶上理)現役合格者数	10名以上	5名 ←	10名 ←	14名
③	上位私立大(GMARCH)現役合格者数	100名以上	103名 ←	86名 ←	94名
④	成成明國武現役合格者数	85名以上	84名 ←	77名 ←	80名
⑤	日東駒専現役合格者数	190名以上	172名 ←	156名 ←	172名